

第16回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日時：2017年12月14日（月）16：30～18：30

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 大会議室

1. 廃棄物対策専門委員会の今後の進め方について

NDF事務局より、廃棄物対策専門委員会の今後の進め方について説明した。

2. 固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発～成果と実施状況～について

IRIDより、固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発～成果と実施状況～について説明があった。

3. 2016年度までの研究開発成果について

NDF事務局より、2016年度末までの研究開発成果に対する評価の概要とそれを踏まえた今後の廃棄物処理・処分対策に係る研究開発計画への反映点について説明した。

専門委員からの主な意見は以下の通り。

- 国際的な定義のある用語について、その定義と異なる意味で使用することは、誤解を防ぐ観点でも避けた方が良い。
- 各国の処分形態の調査については、その処分形態に決まった経緯まで調査を行い、当時の問題点と解決方針についても調査・把握すべきである。
- 分析技術に関して、全体的に進展していることが見て取れるが、どこまでが把握できていて、どこまでを把握する必要があるか、抜けや漏れがないこともわかるよう、全体を俯瞰できるように資料をまとめるべきである。
- 説明できる程度に成果資料が集まった時点で、幅広く学会等で積極的に情報を紹介し、いろいろな方に理解を広げてもらうべきである。

4. その他

- 次回廃棄物対策専門委員会について。

以上